

## 差別の川と番町

6月18日に私たち同推協会員は、人権研修で神戸市長田区にある番町地区を視察した。一行23名、かなり蒸し暑い日だったが元気に出発。

長田区番町地区は、日本で最大級の規模の被差別部落である。

10時頃現地に着くと、部落解放同盟番町支部のHさんと他に3名の方が出迎えてくださった。

さっそく地下鉄湊川公園駅近くの国道交差点から見える旧湊川のあった場所を見学。地上6メートルの天井川である。これをスタートにフィールドワークを開始した。

続いて新湊川を通すために造られた会下山（えげやま）トンネルを見学。残念ながら中に入ることができなかった。その後、新湊川を川沿いの遊歩道を歩きながら見学を進める。

この新湊川は、山から海へという自然の流れに逆らい、海岸線に並行する形で作られた人工の河川である。しかも、番町地区の山側を流れている。さらに驚いたことに、この川の護岸壁は、番町側と対岸では明らかに高さが違うのである。何と番町側が2〜3メートル低い。

これでは、大雨が降ると水害に見舞われるのは当然で、泥水は番町に流せ



▲新湊川の見学（番町側より）

と言わんばかりだ。まさに差別の川である。

現在は、同和对策事業により川床の掘削など改善がなされているが、今も当時の名残を見ることが出来る場所である。

午後は丸山中学校西野分校跡の見学をした後、障がい者共、同作業所『くらべーかりー』を見学した。知的障がいのある長女を育てられる石倉さん夫婦が、障がい者5人と経営。阪神淡路大震災の災害時の苦労話などを聞かせて頂いた。

今回の研修は、久しぶりに部落問題をテーマにした研修であり、充実した一日であった。

（同推協名和支部 大原 毅）

## 大山町みんなの人権セミナー

日 時	場 所	内 容
9月16日(金) 19時30分から	役場 大山支所	<b>「あなたの飲み方大丈夫？」</b> 講師 <small>すぎはらゆうじ</small> 杉原雄嗣 さん（NPO法人 鳥取県断酒会 理事長） ☆断酒会とは・・・断酒会とは酒害者（お酒に悩む人たち）による、酒害者のための自助組織です。 1963年には、全日本断酒連盟という全国ネットワークが完成し、現在では、会員約8500人とその家族が酒のない新しい人生を明るく生きています。 アルコール依存症は、お酒をやめることによって回復が可能な病気です。

※日程、内容などは講師の都合により変更になることがあります。

### 【その他】

- ①小学校入学までを対象に託児を設置します。希望される場合は、開催日の4日前までにお子さんのお名前・年齢を添えて、人権推進室に申し込んでください。
- ②手話通訳を希望される場合は、開催日の14日前までに人権推進室に申し込んでください。

③この講座は、とっとり県民カレッジの連携講座です

申込み先 人権推進室（人権交流センター内）  
 ☎0859-54-2286  
 FAX0859-54-2413

【主催】大山町、大山町教育委員会、  
 大山町人権・同和教育推進協議会